



交通安全ニュース

(一社) 滋賀県トラック協会 安全環境委員会

令和 7年 5月

第170号



令和6年 事業用トラックの事故傾向

～2024年1～12月死亡・重傷事故データの傾向～

1. 事故件数

死亡・重傷事故件数は994件（死者・重傷者の合計人数は1,052人）（営業用トラック1万台当たりの死者数と重傷者数の合計は7.93人）という結果でした。

「トラック事業における総合安全プラン2025」の目標数値⇒令和7年までに死者数と重傷者数の合計を970人（営業用トラック1万台当たりの死者数と重傷者数の合計を6.5人）とするために、より一層の交通事故防止対策が必要です。

2. 発生地

発生地別死亡・重傷事故件数の最も多かったのは、大阪府の120件、次いで埼玉県の104件でした。最も少なかったのは鳥取県、島根県で2件、**滋賀県**は16件で長野県と同数の18番目となりました。

3. 事故類型

「車両相互」が最も多く731件（73.5%）と7割以上を占めており、次いで「人対車両」221件（22.2%）、「車両単独」42件（4.2%）と続いています。

人対車両の事故についてみると、「横断中」の事故が138件（62.5%）と6割以上を占めていることから、**横断歩行者ファースト**の意識をしっかりと持ち、横断歩道の通過には十分注意が必要です。

車両相互の事故についてみると、「追突 駐・停車中」が最も多く142件（19.4%）となっており、次いで「出会い頭衝突」131件（17.9%）、「左折時衝突」100件（13.7%）、「右折時衝突」90件（12.3%）と続いています。

追突事故防止が特に重要です。

★**漫然運転**＝運転中に運転以外のことを考えていた、ぼんやりとしていた、ラジオ放送に聞き入っていたなどの理由で、注意力散漫になり事故を起こしたケースがこれに該当します。死亡事故の原因として最も多いものです。

★**わき見運転**＝風景やスマートフォンなどに目を向け、前方の状態を見ずに運転することです。今年の4月19日首都高速で乗用車に追突し、乗用車の後部座席のチャイルドシートに乗っていた2歳男児が死亡させたトラックの運転手は、取り調べの中で「スマホを使用していた。前を見ていなかった。」とスタンドに取り付けたスマホを運転中に操作していたことが事故原因と考えられる供述をしています。

★**動静不注視**＝相手は見えていたものの、「相手が避けてくれるだろう」「道を譲ってくれるだろう」と思い込んだ「だろう運転」の結果、事故につながるケースです。

★**安全不確認**＝一時停止や徐行をしたものの、首位の安全確認を怠ったために事故につながるケースです。トラックの原因として最も多いものです。

4. 時間帯別

「8～10時」が最も多く150件（15.1%）となっており、次いで「10～12時」142件（14.3%）、「14～16時」110件（11.1%）と続いています。午前中の事故が3割を占めていることを念頭に緊張感を持つ必要があります。

5. 運転者の年齢層

「55-59歳」が最も多く182件（18.3%）となっています。

年代でいうと「40代」が235件（23.7%）、「50代」が354件（35.6%）、「60歳以上」は218件（21.9%）となっています。

また、免許取得年数でみると、「10年以上」が最も多く875件（88.0%）と9割近くを占めており、運転に慣れたベテランドライバーの方ほど、慣れによる甘い判断を排除し初心にかえる必要があると言えます。



高速しが

令和7年
(2025)
5月号

発行 滋賀県高速道路交通警察隊：滋賀県高速道路交通安全協議会

「高速催眠現象」って知ってますか？

単調な高速道路では、疲労や睡眠不足でなくても意識が「もうろう」とすることがあります。これを「高速催眠現象」といいます。この状態での運転は、居眠り運転につながり大変危険です。疲れを感じる前に最寄りのサービスエリア・パーキングエリアで休憩を取り、心身をリフレッシュしましょう。

☆居眠り運転を予防するためには？

- ①窓を開放して、深呼吸する。
- ②目覚め効果のあるガムをかむ。
- ③手を開いたり、指先を動かす。
- ④歯を磨いたり、顔を洗う。
- ⑤車外でストレッチ体操をする。

★眠い時は無理せず仮眠をとりましょう。



行楽期における交通事故防止

◆スピードは控えめに、車間距離は十分にとりましょう。

柔らかな陽ざしを受けてのドライブでは、知らず知らずのうちにスピードが出ることがあります。スピードの超過は前車との車間距離を詰め、あおり運転につながる危険な状態を招きます。常に速度と車間距離に注意し、安全運転を心がけましょう。



◆疲れを感じる前に休憩を取りましょう。

渋滞の中や慣れない道路での運転は思った以上に疲れます。疲れを感じていなくても「2時間走ったら休憩」を取り、眠気を感じたら我慢しないで、速やかに最寄りのSA・PAで休憩しましょう。



◆道路交通情報を確認しましょう。

利用する道路の事故や渋滞情報は出発前に確認し、余裕を持った計画を立てましょう。

◆車の点検は運行前に念入りに行いましょう。

燃料、ワイパー、ブレーキ、タイヤ、各種の灯火類、停止表示板、発煙筒など、しっかり点検しておきましょう。



ライダーの皆さんに知っておいてほしいこと

高速道路での事故を防ぐ Point



走行車両の動きに注意！



高速道路における二輪車事故原因として、急ハンドル、急ブレーキ、わき見、速度違反等を原因とする転倒事故が多く発生しています。わき見運転では、前車に気付くのが遅れ追突するほか、慌てて急ハンドルや急ブレーキをかけ転倒する事故にもつなされます。余裕を持った対応が出来るように、常に全方向に注意を払い、特に前方の車両とは十分な間隔をとって走行しましょう。



無理な追い越しはしない！



連続走行中の車両や、渋滞中の車両の間を無理に追い越したり、追い抜きをすると、車両の急な車線変更に対応し切れず接触、衝突して転倒する事故となります。

特に渋滞中の車両の間を追い抜くことや路肩を走行することは絶対にやめてください。車両には、必ず相手車両が見えない「死角」があることを認識し、常に走行車両の動きに注意して、安全な車間距離と安全な速度で走行しましょう。



運転前の準備を確実に！



- ★ 乗車前の日常点検を必ず行いましょう。
- ★ ヘルメットのあごひもはしっかり締めましょう。
- ★ 二輪車用ヘルメットはもちろん、グローブ、ブーツ、プロテクター、長袖、長ズボンなど保護性の高い装備や服を正しく着用しましょう。
- ★ 風雨が強い等悪天候の時は速度規制に従い速度を落として走行することはもちろんですが、無理をせずSAやPAに待避しましょう。

その手には乗らないで！

「単純作業」で「高収入」をうたうバイト募集は「闇バイト」の可能性あり！

バイト先にあるのは「高収入」じゃなく「犯罪者」かも

そんなおいしい話はありません。もし、連絡を取ってしまった場合は、警察へ相談してください！



ダウンロード
iOS, Android

